

# 活動レポート

## 北海道スタンダード研究委員会

文責：北海道スタンダード研究委員会 副幹事長 樋詰 透

### 北海道スタンダード研究会 第15回勉強会

#### 1. 勉強会の概要

今回の勉強会は、『北海道を元気にする提案に向けたアプローチ』をテーマにワークショップセミナー形式で勉強会を開催しました。

講師は、ビジネス・ブレイクスルー大学大学院マーケティング部の窪田悠氏、金子雅彦氏であり、マッキンゼー流『問題解決思考』を勉強しました。

□第1部：マッキンゼー流

『問題解決思考』セミナー

□第2部：セミナー：マッキンゼー流

『問題解決思考』実践ワークショップ

□日 時：2017年10月13日(金)

18:00～20:00

□場 所：TKP ガーデンシティ札幌駅前

□参加者：24名

#### 2. ビジネス・ブレイクスルー大学大学院

ビジネス・ブレイクスルー大学大学院は、<sup>注)</sup>大前研一さんを社長とする株式会社立大学であり、遠隔教育により経営大学院(MBA)を持つ大学として2005年に開学しました。

学部は経営学部の1学部で、グローバル経営学科とITソリューション学科の2学科が設置されています。

今回の勉強会では、マッキンゼー流『問題解決思考』に関し、ご講演をいただき、問題解決力・論理思考力・実体経済を読み解く力を勉強した後、その実践としてワークショップを行いました。

#### 3. 基本編 マッキンゼー流『問題解決思考』

今回学んだマッキンゼー流『問題解決思考』とは、さまざまな失敗や事象には必ずそれらを構成する問題や課題があることを踏まえ、その問題や課題を細分化して分析していくなかで解決策を見出すという



写真-1 マッキンゼー流『問題解決思考』の説明



図-1 問題解決思考の流れ

問題解決のアプローチの一手法です。

- ①問題の発見：経営事象を既存データにより今後の成長戦略を進めるうえで、何が原因なのか「FACT」として洗い出す。その後、共通する「FACT」を要約してグルーピングする。
- ②解の立案：共通する「FACT」を要約した後は、それぞれの要約した「FACT」を分析・評価を行う。
- ③実行検証：解決策の実行を行うとともに、実行結果の検証を行う。加えて、より良い成果をあげるためには、これらのPDCAサイクルを実行することが重要。

以上の行程を実行することが、マッキンゼー流『問題解決思考』であるが、今回の勉強会では、①問題発見と②解の立案までを行いました。

#### 4. 実践編『あなたがシダックスの社長ならば』

マッキンゼー流『問題解決思考』を学んだ後は、実

実践編として「あなたがシダックスの志田勤一社長ならば」と題し、「カラオケ店舗大量閉店後の成長戦略をどのように描くのか」をAグループ、Bグループ、Cグループ、Dグループの4つのグループによってワークショップを行いました。



写真-2 4つのグループによるワークショップ

シダックスは一般的にカラオケボックスの運営が有名かと思いますが、実は、学校給食、カルチャークラブ、コンビニ経営等、さまざまな分野において営業展開を行っております。

ワークショップでは、カラオケ事業は衰退した影響を受け、シダックスは経営の低迷をむかえておりました。

現状の低迷状態をどう克服するのか、シダックスの全ての営業分野におけるデータを基に分析・評価・成長戦略の立案を行い「シダックスが更なる成長を目指すには」ということを議論しました。

グループ討議のあとは、これからのシダックスの成長戦略について、各グループで発表を行いました。



写真-3 営業データを基に議論を交わす



写真-4 グループの検討結果発表

シダックスの低迷期脱出とこれからの成長を行うには、

- ・ワクワク感のある高齢者向け食の供給
  - ・給食事業における宣伝広告の強化
  - ・多角経営の見直し・スリム化による成長
  - ・顧客ニーズに応じた経営方針の見直し
- 等、多くの意見が寄せられました。

## 5. おわりに

マッキンゼー流『問題解決思考』は、問題の発見から解の立案まで、分析に必要な基礎データの整理が非常に重要となります。この基礎データは、数十年に亘る膨大なデータを図表で整理したものであり、多くの時間が必要となる手法ではありますが、的確な問題抽出と対策の立案には欠かせないのでと感じました。

今後、当研究委員会では、以前実施したテーマ

A：「ベトナムの女子大生！ 1ヶ月間日本人に!!」

B：「台湾の家族！ 北海道の四季を満喫!!」

C：「ドバイの石油王子！ 冬の北海道体験ツアー!!」

を更に具体的にすることも目標であります。

今回学んだ手法もとり入れて、上記テーマを完成に導きたいと思います。

\*\*\*\*\*

注) 大前 研一は、日本の経営コンサルタントで起業家。マサチューセッツ工科大学博士。マッキンゼー日本支社長を経て、カリフォルニア大学ロサンゼルス校公共政策大学院教授やスタンフォード大学経営大学院客員教授を歴任した。